

浜松観光ボランティアガイドの会

## 《事業部主催》～広沢小学校 校外学習～

10月26日、8時30分～11時40分、広沢小学校5年生を対象に校外学習を行った。

事業部員6名、各ブロックより応援を頂いた10名、計16名のガイドで実施した。

5年生157名、先生5名、ガイドを含めて総勢178名。1組から5組を、組の中で各々3グループに分け、合計5組15グループ。ボランティアガイドは各ブロックで各組ごとに分け、出発前に田村事業部長からコースの案内等の説明をした。

1組から3組まで9グループは下記のコースで出発し、4組から5組の6グループは逆コースを歩く。

コースは、西部協働センター⇒犀ヶ崖資料館⇒奥山線跡遊歩道⇒広沢トンネル⇒亀山トンネル⇒浜松城公園⇒普濟寺⇒宗源院です。

昨日の雨も上がり絶好の校外学習日和。最初の学習地、西部協働センター、ここは今から100年あまり前に、世界で初めてテレビ実験が成功した場所。ブラウン管テレビに「イ」の文字を映した石碑があり生徒に説明する。

犀ヶ崖資料館では、遠州の戦国時代・徳川家康・三方ヶ原の戦い・大念仏等についての説明、布橋にまつわる話、この地で亡くなった戦国武将の話等の説明をし、生徒は各々メモをとっていた。

奥山線跡遊歩道を利用して広沢トンネル・亀山トンネルと歩き、50年以上前にこの遊歩道に線路があり電車が走っていた話をし、浜松城公園に入った。東照宮・本丸・富士見櫓の説明。朝から晴天で、久しぶりに富士見櫓から富士山を望むことができた。

天守門の入り口で石垣は普通横向だが、左右にある大きな石垣（鏡石）2個がどうして縦に組まれているか生徒に説明し天守台に入る。

天守台では、石垣がどこからどのように運ばれたか、この石垣の積み方は何という積み方かを説明する。生徒からは、事前に調べたのか「ハート型の石はどこにあるのか」と質問があったので、その場所を教える。

その後、天守閣に入り1階の展示物の説明、2階で歴代城主、江戸時代中期の浜松城下町の説明、3階で上から見た東照宮の説明、富士山は見えるか、自分の学校が見えるか等の話。その後地下に行き、井戸の説明をして天守閣を後にする。

次は普濟寺へ。この寺は三方ヶ原の戦いの折、徳川軍が普濟寺を燃やし、武田軍に浜松城が炎上したように見せた寺である

こと、また、江戸時代にできた山門の説明をする。そして最後の見学地宗源院へ。ここは、三方ヶ原の戦いで亡くなった武将の墓の説明をする。その後学校に戻る。

今回の校外学習では、1名転んで擦り傷をした生徒がいたのが残念でしたが、全体では良かったと感じています。生徒はこの校外学習で、少しでも浜松の歴史を感じてくれるとありがたいと思います。

事業部 小野貞男（中ブロック）



5年生校外学習説明



西部協働センター

# 静大附属中「ライフタイム 交流会」

ご案内をいただき、秋日和の11月7日、大村会長、小池広報部長、私の3人で附属中学校へ伺いました。

生徒達は「ライフタイム」と称する総合学習時間に、自身で決めた課題の追究活動（訪問・インタビュー・調査など）を行い、その成果を「交流会」で発表するのです。

追究活動先の一つとして「浜松観光ボランティアガイドの会」を選び、浜松城でのガイド活動を取材したいと、生徒11人が7月27日に浜松城を訪ねてきてくれたことは、既に会報9月号にて掲載したとおりです。

その取材応対をした私は、生徒達がどのようにまとめて発表してくれるのか・・・。

ワクワクしながら取材生徒全員の発表場所を先生に確認したところ、発表場所が多く、発表15分・移動5分の設定上、交流会1時間枠では11人全員の発表を聞くのは無理と分かり、やむなく2年生2人、1年生2人の計4人の発表を聞かせてもらいました。

**取材先：**当会以外に、春華堂・フルーツパーク時之栖・ミソノイサイクル等。

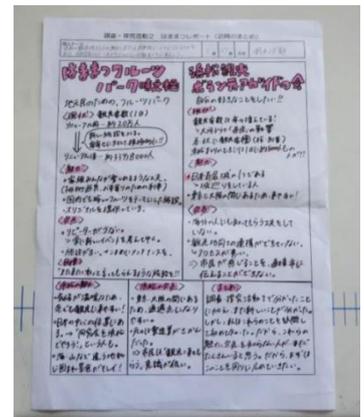
**課題：**①自分の住む浜松の良さを知りたい。②浜松を支える産業・観光の魅力・欠点を知り、市民として今後どのように行動すべきか考えたい。③市民の浜松への理解・関心が薄いと感ずるので、地元愛を高めるための手立てを自分で考えたい等。

**まとめ：**①ボランティアで観光ガイドをしているのは浜松への関心が高く、浜松の魅力を発信していると思う。②温暖な気候、四方が異なる地形で風光明媚。③日本の中間位置のため、人々が集まりやすい反面、東京、大阪などの大都市間の通過点になりやすい。④製造業が盛んなために、観光に来てもらおうという意識が低い。⑤今回、初めて知ったことをまだ知らない周りの人に広めていきたい。⑥取材で出会った人達の人柄の良さも浜松の魅力と思う等々。



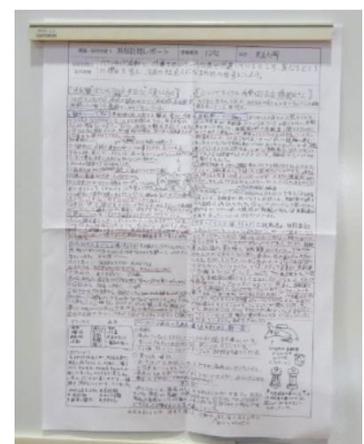
2年生鈴木沙耶さん(青色ジャージ服の女子)の発表状況(写真左側)

上記のレポート(写真右側)



1年生足立心玲さん(白いシャツの男子)の発表状況(写真左側)

上記のレポート(写真右側)



ガイド取材1時間で、本当に良くまとめ上げた発表だと感心しました。取材時、話を聞く生徒達の表情がとても真剣だったのが印象的でした。

中学1年男子のまとめに、「社会を支えることは話す力・聞く力・行動力・自分と地域への愛だと思う」とありました。心しておきたい言葉です。

## 中ブロック秋のミニ研修会 「掛川方面バスたび」

11月22日、不安定な天気の中、標題の研修会「掛川方面バスたび」に17名が参加しました。

午前中は、平将門の首塚があり、井伊直親が殺害された場所ともいわれている十九首、山内一豊が築城し、木造で再建された掛川城天守閣、二の丸御殿、旧掛川城、北条氏重が建立し、3代将軍家光を祭る龍華院大猷院霊屋(りゅうげいんたいゆういんおたまや)、金次郎像で有名な二宮尊徳が唱える報徳を広める報徳社の本社である大日本報徳社を回りました。

掛川城周辺は、掛川ボランティアガイド「猫の手の手会」の糸田さんにガイドをお願いしました。ギャグ満載でとても楽しいガイドさんでした。

午後からは、難攻不落の名城と呼ばれた高天神城跡へ登りました。ぱらぱらと雨が降っていて足場も悪い中、ガイドの大石



掛川城天守前の中ブロックの皆さん



ガイドの大石さん

高天神城本丸跡でガイドの説明を聞く

ことができました。ありがとうございました。

さんは、山道が慣れていらっしゃって、限られた時間の中、見どころを沢山教えてくださいました。上り下りが大変な城跡で、私はガイドさんに付いていくのがやっとでした。帰るときは疲れて、一度行けばよいところだなと思いましたが、家に帰ってハイキングマップを見ていたら見落とししているところがあり、もう一度歴史を感じるため登ってみたいと思いました。今度は足元ばかり見ずに城跡をゆっくり見たいです。

研修の最後に寄った横須賀城は、大井川から運んだ白い丸石で積んだ石垣が、とても綺麗に積まれており素敵でした。

ミニ研修会に参加して、本当に充実した時間を過ごすことが

中ブロック 中村千佳世

## 北ブロック 「救命処置方法」 講習会実施

10月15日の定例会終了後に、北部協働センターにて「救命処置方法の講習会」が行われました。中消防署高台出張所より4名の署員の方が来てくださり、分かりやすく教えてくださいました。参加者は17名(女性6名、男性11名)でした。

二つのグループに分かれて、「心肺蘇生法をする人」「AEDを使う人」の役割を交替して講習を受けました。



熱心にAED操作

早速、手順通りには思いきや、なかなか大変でした。

倒れている人を発見⇒周りの安全確認⇒意識確認(大丈夫ですか?を3回肩を叩きながら繰り返す)⇒助けを呼ぶ(119番通報とAEDの持参を指示する)⇒正常な呼吸をしているか確認⇒心肺蘇生法⇒AED到着⇒AEDの電源スイッチを入れる⇒アナウンスに従ってパッドを貼る<胸がぬれていないか?ピップエレキバンなどが貼られているか?ペースメーカーがないか?>⇒パッドのプラグを本体コンセントに入れる⇒心電図の解析⇒安全確認して離れる⇒スタートボタンを押す⇒電気ショック⇒再度心肺蘇生法へ。

声を出しながら、操作手順を確認すると分かりやすいと思いました。汗をかきながらでしたが、楽しく皆さんとできたのが良かったです。最後に、全体で出血時の直接圧迫止血法の説明を受けました。出血部位の確認後、その部位を迅速に圧迫しますが、きれいなガーゼやハンカチ、タオルなどを重ねて傷口に当て、その上から、出血部位を指先や手のひらで強く圧迫するのが基本ということ学びました。

企画して下さった西村ブロック長さんにも大変感謝しています。今後も、楽しく、観光ボランティアガイドができますように、皆様と協力して頑張りたいと思います。

北ブロック 鈴木幹子

◆お知らせ◆

浜松市博物館テーマ展「井伊直虎と遠江の国衆」開催中

戦国時代の遠江国には、国衆と呼ばれる地域領主が多く存在しました。井伊氏も浜名湖北部を治める国衆でした。今川・武田・徳川という戦国大名たちの争いの中で、遠江の国衆たちも生き残りを賭けて、様々な行動を起こします。

テーマ展では、井伊氏をはじめ遠江の国衆を物語る数々の資料から、遠江の戦国時代の様子が紹介されています。

《開催期間》平成29年11月18日(土)～平成30年1月14日(日)

《開催場所》浜松市博物館特別展示室

《開館時間》9:00～17:00 [休館日:月曜日、祝祭日の翌日、12月29日～1月3日]

11月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、この3箇所の他に「浜松駅観光インフォメーションセンター」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

《浜松城》

複数回来場のあった団体

* 読売旅行	9回	278名
* MST	8回	354名
* クラブツーリズム	7回	220名
* 阪急交通社	4回	169名

1日 水	和地小学校	129名
	(株)農協観光	48名
2日 木	東信年金受給者協会	46名
5日 日	上末吉自治連合町内会	37名
	玉城町役場職員親睦会	60名
	中瀬4区自治会・育成会	48名
6日 月	観音寺	32名
	八熟会秋季親睦旅行	33名
	農協観光/JAたがわ定期積金旅行	37名
	S K Y株式会社	45名
9日 木	湖東中学校	80名
	農協観光/JAたがわ定期積金旅行	40名
10日 金	静岡県教職員組合静岡支部清庵事務所	50名
	尼崎市小田地区民生児童委員協議会	83名
	塚支区第4公休会	30名
	三誠電気(株)社員旅行	32名
	静岡県立島田商業高校	38名
	伊勢市シルバー人材センター会員互助会	42名
11日 土	群馬トラベルセンター	31名
	千葉県私立副校長・教頭研修会	33名
	班長自主研	31名
	(株)フレンズヒル	66名
15日 水	愛知大学外国人留学生研修旅行	110名
	山県市老人クラブ連合会	63名
	秋の遠州路	43名
16日 木	オーナー会	15名
	JVS	31名

18日 土	日東樹脂工業(株)第一生産課	41名
	済生会吹田病院・ワイツアーズ(株)	41名
	MYT全体研修会	87名
19日 日	本田子供会	38名
20日 月	KSCA	38名
	長野原町老人クラブ	35名
	愛知県会員衛生協会一宮支部	31名
21日 火	J Aにしみの年金友の会	46名
24日 金	東海6名城めぐり	42名
25日 土	ゆりの樹旅行会	37名
26日 日	(株)朝日旅行 大阪支店	35名
28日 火	舞岡台V S S	41名
29日 水	年金者組合千草支部	41名
30日 木	J Aにしみの年金友の会	121名
	* 上記以外に29名以下の97団体	1,642名

《犀ヶ崖資料館》

2日 木	成瀬中央シニアクラブ	20名
11日 土	大垣市墨俣校区体育振興会	65名
19日 日	山梨県身体障害者連合福祉会	50名
26日 日	戦国武将ゆかりの地を行く	34名
30日 木	広沢小学校	34名

《浜松まつり会館》

7日 火	JA梨北年金友の会 菰崎支部①	59名
9日 木	JA梨北年金友の会 菰崎支部②	65名
11日 土	コメジ・ソシオ互助会	21名
13日 月	JA福井市西部地区農家組合長会	19名
	峡西健康友の会	73名
14日 火	JA名古屋岩塚支店年金友の会	21名
15日 水	寿大学共長公民館	63名
29日 水	名古屋市上下水道退職者会	31名
30日 木	自由民主党関成町連合支部	36名

はままつ案内人会報 189号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会

〒430-0946

浜松市中区元城町100-2 (浜松城内)

TEL & FAX 053-456-1303

ホームページ <http://www.hama-svg.jp/>

浜松観光ボランティアガイド

検索



出世大名 家康くん

出世法師 直虎ちゃん